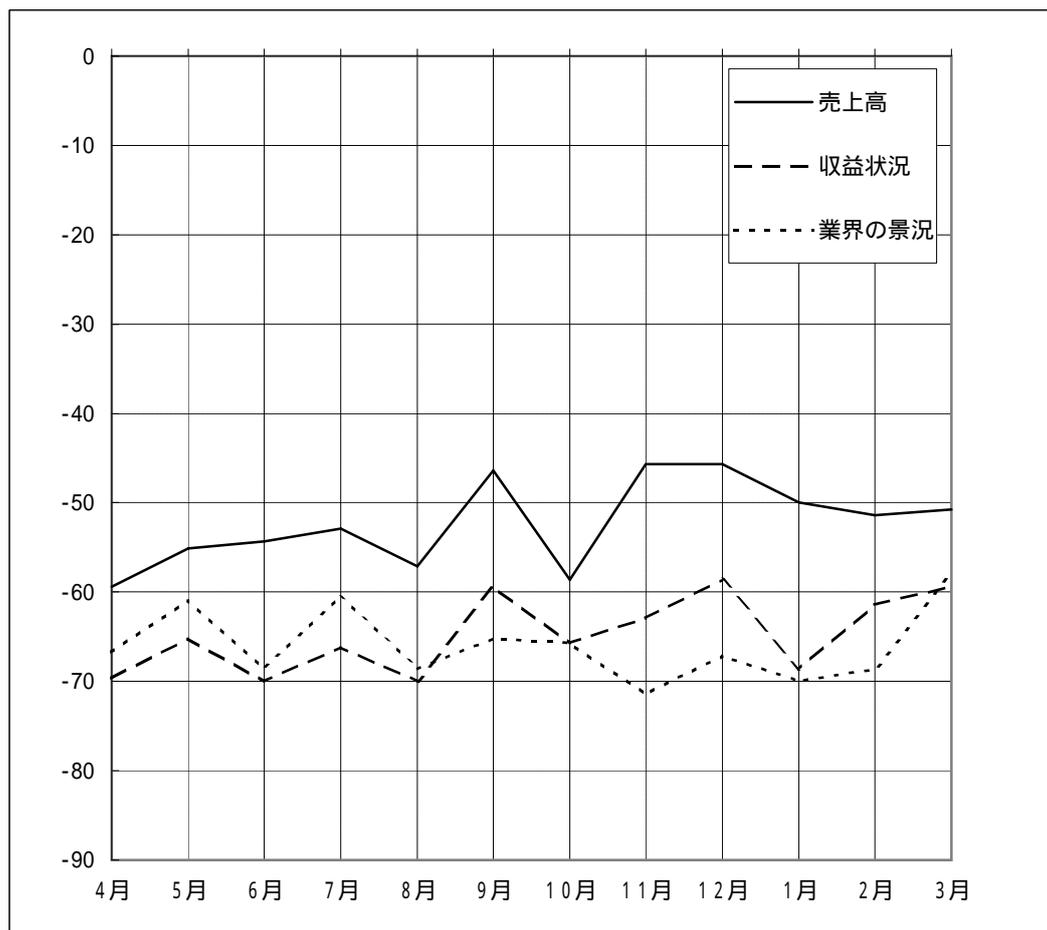


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成14年4月～平成15年3月

単位:ポイント



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高	-59.4	-55.1	-54.3	-52.9	-57.1	-46.4	-58.6	-45.7	-45.7	-50.0	-51.4	-50.7
収益状況	-69.6	-65.2	-70.0	-66.2	-70.0	-59.4	-65.7	-62.9	-58.6	-68.6	-61.4	-59.4
業界の景況	-66.7	-60.9	-68.6	-60.3	-68.6	-65.2	-65.7	-71.4	-67.1	-70.0	-68.6	-58.0

3月のDI値をみると3項目全てが前月より改善が見られた。

「景況」は前月より10.6ポイントの大幅な改善であり、-50%台へ推移。「売上高」において、0.7ポイントと僅かな改善に止まったものの、前月同様-50%台を継続中。「収益状況」において、2.0ポイントの改善があり、昨年12月以降の-50%台に回復。中小企業の業況は一部に持ち直しの動きが見られるものの、景況感の大幅な改善には至らず、引き続き厳しい環境下にある。

業種別の「景況」を見てみると、製造業では「鉄鋼・金属」「木材・木製品」「繊維・同製品」で悪化し、相変わらず「鉄鋼・金属」「木材・木製品」で悪化とする割合が高い。また、非製造業では、全体的に前月より悪化とする割合が減少したが、好転とする業種が見られず、相対的にも製造業より景況感が悪く、「建設業」では全て悪化とした。

組合の特記事項からは、「鉄鋼・金属」「一般機器」の製造業の一部で好転している報告があるが、一方でイラク戦争による輸出の影響悪化を懸念する報告がある。製造業全体で、受注量が増加傾向にあったが、その反面低価格競争や資金繰りの悪化及び不況感の影響を引きずっている報告がある。また、「商店街」「卸・小売業」を含めた非製造業では、需要の低迷が続き、厳しい状況にあるため、組合員の脱退や先行きの不透明感による不況・不安感の報告が見られた。